

## 小学校・中学校 総合的な学習の時間

## 高等学校 総合的な探究の時間

### 重点1 探究的な学習の過程を中心に据える 目標2

探究的な見方・考え方を働かせ、問題解決的な学習を発展的に繰り返していくこと、自己の生き方を考える課題を自ら発見し設定するプロセスを大切にしましょう。

- 「探究的な学習の過程（課題の設定⇒情報の収集⇒整理・分析⇒まとめ・表現）」が繰り返される学習となっている。
- 児童生徒にとって必要感のある課題、**実社会・実生活に係る課題**や**地域や学校の特色**に応じた課題を取り扱い、児童生徒の**興味・関心等**に基づく学習となっている。

### 重点2 学習内容、学習方法を見直す 目標1 目標2

学校ごとに「目標」および「内容」を定め、全体計画や年間指導計画を作成しましょう。「内容」は「目標を実現するにふさわしい探究課題」と「探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力」からなります。

- 他者と協働して課題を解決しようとする学習となっている。
- 自然体験や職場体験、ボランティア活動等の体験活動、地域の教材や学習環境を積極的に取り入れている。
- **小・中・高の連続性、発展性**を意識した学習内容になっている。

### 重点3 各教科等との関連を図る 目標1 目標2

横断的・総合的な学習を行う観点から、各教科等との関連を図ることを意識しましょう。

- 総合的な学習の時間における取組と各教科等における取組がどのように関連しているか意識して指導している。
- 各教科等を越えた**全ての学習の基盤となる資質・能力**(言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力など)を育成する取組となっている。
- 単元配列表を作成・活用し、育成を目指す資質・能力で各教科等をつなぎ、指導している。

### 〇小・中・高を通じて身に付けさせたい資質・能力（目指す子どもの姿） 目標1 目標3

- 実社会・実生活における課題に対して粘り強く解決に向かって探究している。
- ・島根の現状、地域の現状を理解し、自ら課題を発見している。
- ・唯一の正解が存在しない課題にも、様々な教科等で学んだ見方・考え方を総合的に活用している。
- ・様々な他者と協働する中で、互いの資質・能力を認め合い、相互に生かし合っている。

### 〇総合的な学習（探究）の時間の評価について 目標1 目標3

評価の観点は、学習指導要領が定める目標を踏まえて各学校が目標や内容を設定するという総合的な学習の時間の特質から、**各学校が設定する**という枠組みが維持されています。一方で、現行学習指導要領の下では指導と評価の一体化を図る観点から、評価は資質・能力に基づき、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点で整理することが求められています。

### 〇「総合的な学習（探究）の時間ガイドブック」配付

小・中・高の連携による一貫性をもった「総合的な学習（探究）の時間のあり方」を普及するために、ガイドブックを配付しています。  
<https://eio-shimane.jp/class-making/982>



### 研修等について

小・中学校「総合的な学習の時間」講座 ～探究的な学びを伸ばす学校のマネジメント～  
期日／会場：8月19日（水）／島根県教育センター  
対象者：小・中・義務教育学校、特別支援学校（小・中学部）の教員

### 重点1 探究的な学習の過程を中心に据える 目標2

探究の見方・考え方を働かせ、問題解決的な学習を発展的に繰り返していくこと、自己の在り方生き方と一体的で不可分な課題を自ら発見し設定するプロセスを大切にしましょう。

- 「探究の過程（課題の設定⇒情報の収集⇒整理・分析⇒まとめ・表現）」が発展的に繰り返される学習となっている。
- **実社会や実生活と自己との関わり**から問いを見だし、**自分で課題を立てる**ことができる学習となっている。

### 重点2 学習内容、学習方法を見直す 目標1 目標2

学校ごとに「目標」および「内容」、「方法」を定め、全体計画や年間指導計画を作成しましょう。「内容」は「目標を実現するにふさわしい探究課題」と「探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力」からなります。

- 他者と協働して主体的に課題を解決しようとする学習となっている。
- 体験活動、観察・実験・実習・調査・研究、発表や討論などの学習活動を積極的に取り入れている。
- **小・中学校の取組の成果を生かした**、高等学校にふさわしい実践が展開されている。

### 重点3 各教科等との関連を図る 目標1 目標2

横断的・総合的な学習を行う観点から、各教科等との関連を図ることを意識しましょう。

- 総合的な探究の時間における取組と各教科等における取組がどのように関連しているか意識して指導している。
- 各教科等を越えた**全ての学習の基盤となる資質・能力**(言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力など)を育成する取組となっている。
- 複数の教科・科目等における見方・考え方を総合的・統合的に働かせる学習となっている。

## 全体計画（例）

出典：「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開 小学校編」令和3年3月 文部科学省 P.77 より抜粋

事例① ○〇学校 総合的な学習の時間 全体計画

**児童の実態**

- 素直で、まじめに取り組む子が多く、自己肯定感が高い
- 自分で考え粘り強く取り組む姿勢に課題がある
- 基本的な生活習慣や家庭学習習慣の定着に課題がある

**保護者の願い**

- 学習習慣の確立
- 良好な人間関係の構築
- 健康で安全な生活
- 基礎的・基本的な知識や技能の定着

**学校教育目標**

自他と地域を愛し、目標に向かってたくましく生きる、自立した児童の育成

- よりよく生きるために、相手意識を持ち、周囲の人たちと協働できる、なごやかな子
- 広い視野を持ち、持続可能で平和な社会・地域の創り手として活躍できる、しなやかな子
- 目標実現のために、主体的に考え判断し、行動できる、たくましい子

**総合的な学習の時間 第1の目標**

**総合的な学習の時間の目標**

自分と地域の人・もの・こととの関わりについて、探究活動を通して、総合的に追究する方法を身に付け、そこにある課題を主体的に見出し、仲間と協力して問題を解決するとともに、自己のあり方や生き方を見つけようとする態度を育てる。

(1) 探究的な学習の過程において、これまでに身に付けた資質・能力を生かしながら、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。

(2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、様々な方法で集めた情報を整理・分析し、各教科等で身に付けた資質・能力を生かしてまとめ・表現することができるようにする。

**地域の実態**

- 豊かな自然に恵まれている
- 高齢化が進行している
- 学校教育に対する理解があり、協力的である

**地域の願い**

- 地域の担い手となってほしい
- 地域行事等に積極的に参加してほしい
- 豊かな人間性を身に付けてほしい

総合的な学習の時間の内容				
学年	3年	4年	5年	6年
テーマ	町づくり	環境	食	福祉
探究課題	町づくりや地域活性化のために取り組んでいる人々や組織	身近な自然環境とそこに起きている環境問題	食をめぐる問題とそれに関わる地域の農業や生産者	身の回りの高齢者等とその暮らしを支援する仕組みや人々
探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力	知識	地域のよさや地域に住む人々の思いを理解することができる。	環境を守るようとする人々の思いや工夫を理解することができる。	高齢者等の思いや願い、暮らしを支援する仕組みを理解することができる。
	技能	地域に昔からあるものを大切に扱ったり、地域の人と挨拶をしたりするなど適切に接する。	4R(リデュース・リユース・リサイクル)について、学校や家庭で自分で行うことができる。	家庭内の調理や給食等の自らの食事において、適切な量を選び、食料を無駄にしないようにする。
	探究的な学習のよさの理解	地域を大切にしたいという自分たちの思いの変容は、地域のよさや人々の思いについて探究的に学んだことによる成果であると気付く。	ごみを少なくする、分別する等の意識や行動の変容は、環境問題や環境を守ろうとする人々の工夫について探究的に学んだことによる成果であると気付く。	食べ残しをしないなど、自分の意識や行動の変容は、食の問題や生産者の願い等について探究的に学んだことによる成果であると気付く。
	課題の設定	身近な環境に関する課題を設定するとともに、解決に必要な調査方法を明確にしながらフィールドワークの計画を立てることができる。	自分たちを取り巻く地域社会に広く目を向けて課題を見出し、解決の方法や手順を考え、見直しをもって計画を立てることができる。	多様な方法で自分の目的や意図に即した情報を収集し、種類に合わせて紙面やICTで蓄積することができる。
	情報の収集	人に聞いたり、図書館やICTを活用して調べたりして、必要な情報を集めることができる。	集めた情報を表やグラフ、思考ツール等を用いて分類・整理し、特徴を見付けることができる。	いろいろな思考ツール等を用いて、集めた情報を整理し、情報と情報の関係を考えることができる。
整理・分析	集めた情報を比較し、観点ごとに分類し、表などを用いて整理することができる。	他教科等で培った表現力等を生かし、相手に伝わるようにまとめることができる。	他教科等で培った表現力等を活用し、目的に応じて手段を選択し、情報収集やまとめ等を行うことができる。	
まとめ・表現	他教科等で培った表現力等を生かし、相手に伝わるようにまとめることができる。	身近な人と力を合わせて課題を解決しようとする。	身近な人と協力して探究活動を行うことができる。	
主体性・協働性	身近な人と力を合わせて課題を解決しようとする。	身近な人と協力して探究活動を行うことができる。	他者と協働して探究活動に取り組み、協働の大切さに気付いている。	
自己理解・他者理解	課題解決の中で、自分の考えと異なる意見や考えがあることを知ろうとする。	探究活動の中で、自分や友達の見解や考えそれぞれによさがあることを知り、学び合おうとする。	探究活動を通して、自分のよさや他者のよさを生かしながら、協働して学び合おうとする。	
将来展望・社会参画	地域との関わりの中で、自分のできそうなことを見付けようとする。	地域との関わりの中で、自分のできることを見付けようとする。	地域との関わりの中で、自分のできることを見付け、実践に移そうとする。	

【学習活動】	【指導方法】	【指導体制】	【学習の評価】
・地域の実態、児童の実態を踏まえ、探究課題を設定する。 ・多様な人々と協働して解決する必要のある探究課題を設定する。	・体験活動を重視する。 ・各教科等との関連を重視した指導を行う。 ・学習内容によってはSDGsを意識し、持続可能な社会について考えられる指導の工夫をする。	・地域コーディネーターを中心に地域教材の活用や地域の人々、◇◇大学との連携・調整を行う。 ・全職員による指導体制を確立する。	・キャリアパスポートを活用した評価の充実を図る。 ・個人内評価を重視する。 ・発表会（異学年交流も含む）を利用した評価を取り入れる。

〇「今求められる力を高める総合的な学習の時間の展開」・「今求められる力を高める総合的な探究の時間の展開」（文部科学省）  
総合的な学習（探究）の時間に係る計画の基本的な考え方や具体例、学習指導及び総合的な学習の時間を推進するための体制づくりなどについて、わかりやすく解説するとともに、優れた実践事例を取り上げた資料です。  
・小学校編（令和3年3月）・中学校編（令和4年3月）・高等学校編（令和5年3月）  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/sougou/main14\\_a2.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/sougou/main14_a2.htm)

目標5との関連は、URL または二次元コードからご確認ください。  
URL <https://www.shimane-cc.pref.shimane.lg.jp/shien/tokubetsushien/-1218.html>